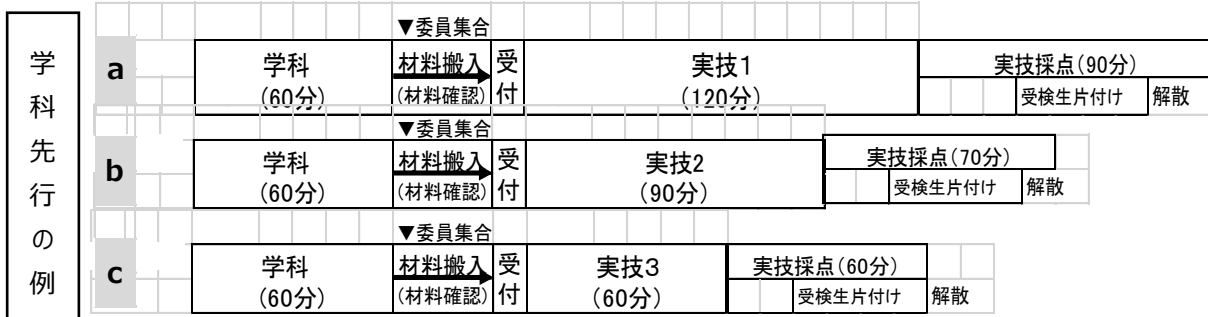
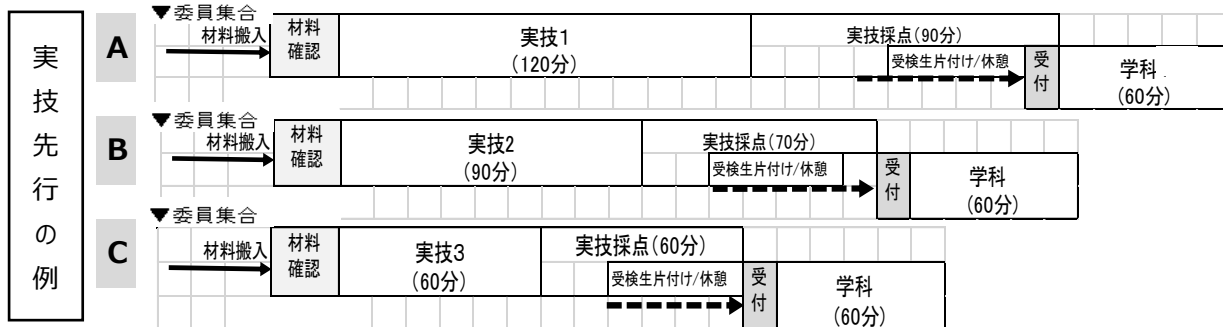


# 随時試験における集合方式の試験の流れ

複数等級の実施や、受検者数を考慮し、

次のパターン（A～c）の組合せで効率的に実施する。

## 集合方式の実施パターン（例）



## 実施計画の策定

- ① 県協会が「集合方式の実施パターン(例)」に基づき、実施場所・集合時間等を調整し、実施計画を策定します。
  - ② 県協会が試験実施の約1.5ヶ月前迄に実施計画を策定し、監理団体及び検定委員へ通知します。
- ※ 監理団体は県協会が提示する技能検定実施職種(作業)の日程一覧から、受検日を選定し、受検日の2ヶ月前までに外国人技能実習機構本部へ「受検申請連絡票」を提出して下さい。

## 試験実施に関する役割分担

### 協会の役割

- ① 試験当日は、総合受付を設置する。 ……受付/搬入・会場誘導等
- ② 事務員を配置し、試験全体を進行管理する。 ……スムーズな検定実施

### 監理団体等の役割

- ① 試験当日、集合時間までに材料搬入し、確認を受ける。  
但し、一部職種においては、県協会が指定する日(原則として試験前日)までに材料搬入し、確認を受ける。
- ② 受検者の試験会場誘導等の支援を行う。

## 集合方式の実施（例）

職種	等級	9:00
内装仕上げ施工	随時3級	A 検定1 実技 ⇒ 学科
	基礎級	B 検定2 学科 ⇒ 実技
機械検査	基礎級	C 9:30 検定3 実技 ⇒ 学科